

平成28年度 岩間市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		H28年度計画		実施状況		評価		
I 文化事業目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価	
1 市民への文化芸術の鑑賞、創作活動の機会の提供	①地域の方が身近な施設で、質の高い文化芸術を体験する機会の提供、きっかけづくり	<input type="checkbox"/> シリーズ「午前の音楽会」 述べ入場者数/開催回数	900人/6回	989人/6回	A	気軽に参加できるクラシックコンサートシリーズ。11月に100回記念事業を迎え、横浜音祭りの参加事業とした。	【成果】 ・岩間独自の代表的な事業として定着し、特に「岩間シネクラブ」は、地域の高齢者に憩いと楽しさを提供しています。 ・「プラザDE体験講座」は、岩間の新たな利用客の獲得に貢献しています。 ・「保土ヶ谷オープンヘリテージ」コンサートでは、地元による緒あるカトリック教会に出向き、教会にふさわしい古楽器でのコンサートを実施。地元の方々に喜んでいただくと同時に地域の文化財と岩間市民プラザの発信することができました。 【課題】 ・参加者の高齢化が進む中、より若年層の参加を促すことも念頭に置いた取組の必要があります。 ・一部の事業で参加者数が目標に達していない。適正な目標設定を行う必要があります。【例】カトリック教会は150人で満席である。 ・シリーズ大人の時間「朗読と音楽」は、2回公演を年2回の予定が、2回公演年1回の公演となりました。	【評価できる点】 ・これまで継続し施設に定着した事業が着実に引き継がれ実施され、市民に幅広く文化芸術に触れる機会を提供しています。 ・地域の歴史的建造物を会場としたコンサート等を、区や地元エリアの事業と連携しながら実施し、地域の方に鑑賞機会を提供するだけでなく、文化芸術の文脈で地域資源に光をあてることで、地域の多様な魅力の醸成に寄与しています。 ・横浜音祭り事業に連携・協力し、市民の鑑賞機会の提供や助成金の獲得に繋がっています。 【改善が必要と考えられる点】 ・現状、長年継続している定番事業が中心となっており、参加者が高齢者等のリピーターに固定化する傾向が見られます。今後は、実施効果や将来的な参加者拡大といった点も視野に入れつつ、これまでの実績や参加者ニーズも踏まえながら、事業展開を検討することも必要です。
		<input type="checkbox"/> 岩間シネクラブ 述べ入場者数/開催回数	720人/6回	954人/6回	A	一般上映の少ない往年の名画をホールのスクリーンで鑑賞する映画会。		
		<input type="checkbox"/> 岩間シネクラブ特別編 サイレントシネマ&活弁ライブ! 入場者数	150名	102人	C	今回7回目を迎える。入場者数は前回(70程度)比では増加		
		<input type="checkbox"/> シリーズ大人の時間「朗読と音楽」 述べ入場者数/開催回数	540人/2回	301人/1回	C	今回は夏目漱石「夢十夜」全編朗読。アンケートの満足度は高い		
		<input type="checkbox"/> 文学作品朗読とオリジナル楽曲のコラボ	実施	実施		オマタタツロウによるオリジナル楽曲の演奏		
		<input type="checkbox"/> シリーズ「邦楽いろはにほ」 述べ入場者数/開催回数	250人/2回	314人/2回	A			
		<input type="checkbox"/> 委嘱作初演曲を含むプログラム構成の充実	実施	実施		7月の公演では、委嘱曲2曲の初演、1月の公演では、演奏機会の少ない現代邦楽の作曲家長澤勝俊の作品の演奏		
		<input type="checkbox"/> 「シルクロードの旋律を奏でる」 述べ入場者数/開催回数	300人/2回	352人/2回	A	「シルクロードの旋律を奏でる」シリーズの10、11回目を実施。今年度は、どちらも二胡を中心としたコンサートを行った。		
	②講座やワークショップの開催による文化芸術への理解・共感の向上	<input type="checkbox"/> 「プラザDE体験講座」 述べ参加者数/開催回数	50人/2回	29人/3回	C	月に1回の初心者向けカメラ講座を開始。告知に十分な時間が取れず当初参加人数が少なかったが、毎回参加の方もおり、次年度も引き続き開催しシリーズ化予定。		
		③市民プラザでの芸術体験を通じた、地域への愛着につながるような内容、工夫ある事業の実施	<input type="checkbox"/> 「保土ヶ谷オープンヘリテージ」コンサート 入場者数	250人	147人	C	“歴史的建造物を通じて保土ヶ谷の歴史に親しむイベント”にちなんでのコンサート。今回は保土ヶ谷カトリック教会で実施。普段接する機会の少ない場所で、接する機会の少ない古楽器(リュート)の演奏。	
			<input type="checkbox"/> 横浜市の推進するフェスティバル事業への参加回数	1回	1回	B	横浜音祭り参加 ・サポート事業(1件):午前の音楽会100回記念コンサート(11/19) ・パートナー事業(7件):音楽の贈り物(6/11)、午前の音楽会(5/14、7/23、9/17)、邦楽いろはにほ〜(7/9)、シルクロードの旋律を奏でる(6/25,11/26) ・減免協力(1件):ショートフィルム&コンサート(11/8)	
2 次世代育成の取り組み	①次代を担う子どもたちが、文化芸術を通じて、豊かな創造性や感受性を育むことができる事業の実施	<input type="checkbox"/> ゼロ歳から中学生のための地域劇場 述べ参加者数/開催回数	350人/2回	1470人/4回	A	5月、6月、10月、12月の4回実施	【成果】 ・NPO法人の活動を支援することおよびそのノウハウを活用することで、多くの青少年に文化活動の場を提供できました。 ・地元の企業と連携し、地域の親子や働く方々に音楽の楽しさや憩いのひと時を提供できました。 ・地元の人材資源である舞踊家と連携し、日本文化の良さを子ども達に伝えることができました。 ・地域の保育園等と連携し、子ども達の心豊かな成長のお手伝いができました。 ・地域の小学校へアウトリーチで普段学校では体験することができない、文化芸術を届けることができました。 【課題】 ・一部事業において広報・周知が不十分で、参加者数が目標を下回りました。	【評価できる点】 ・幼児・児童から中学生、親子などを対象とした事業展開が、地域の企業や保育施設、NPO等との連携等も行いながら実施されています。 ・音楽、美術、日本文化と、幅広いジャンルの文化芸術に子ども達が触れる機会を増やし、次世代に広げていくことが重要と考えますので、引き続き、その観点を重視した取組を期待します。 【改善が必要と考えられる点】 ・若干、中学生以上の若者世代をターゲットとしたメニューに欠ける面がありますので、今後は(施設利用者の掘り起こしという観点からも)検討の余地があると考えられます。
		<input type="checkbox"/> 音楽の贈り物@ほどがや 述べ入場者数/開催回数	1200人/3回	480人/3回	C	今年度は横浜ビジネスパーク(YBP)の1Fにて実施。(6/11、12/16、12/20の3回実施。うち1回はビジネスタイム)		
		<input type="checkbox"/> シリーズ「午前の音楽会」	(I-1再掲)			3歳以上なら参加可能な音楽会。約1時間でプロの演奏が楽しめるシリーズ		
	②子どもたちが、自ら創作する喜びや、表現する楽しさを体験できる事業の実施	<input type="checkbox"/> 日本舞踊体験WS「めざせ☆やまとなでしこ&にっぽんだんじ」 参加者数	30名	23人	C	地元の日本舞踊家による子ども向けの講座。日本舞踊を通じて日本文化に触れてもらいます。(未就学児の参加希望もあったのだが、小学生対象の講座なので、今回はお断りしました)		
		<input type="checkbox"/> ぼくのわたしのお絵かきあそび 述べ参加者数/開催回数	300人/2回	187人/1回	C	年長・年中児の絵画作品を近隣の保育園・幼稚園からご提供いただき、約120点を展示。テーマは「夏」。		
	③子ども同士がお互いの個性を尊重し合いながら、交流し、自己表現の大切さ、コミュニケーション力を高められる機会づくり	<input type="checkbox"/> ギャラリー絵本よみきかせ会 述べ参加者数/開催回数	50人/2回	50人/2回	B	「ぼくのわたしのお絵かきあそび」展示の期間に合わせて、絵本を読み聞かせ会を開催。読み聞かせのあと、カード作りのワークショップも同時に開催した。		
		<input type="checkbox"/> 横浜市民芸術文化教育プラットフォーム等、アウトリーチ事業の活用による、子どもたちの文化芸術体験機会の増進	<input type="checkbox"/> 横浜市民芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム 実施校数	5校	4校	C		
3 市民協働、市民主体の活動の支援、地域人財育成	①地域で文化活動を担う人財を育成するための事業の実施	<input type="checkbox"/> WEB制作講座(初年度初級) 述べ参加者数/開催回数	20人/2回	0回	C	web制作講座単独の開催ができなかったが、映像制作講座において、取材・編集のあと、WEBに動画をアップする工程も組み込んだ(上記参照)	【成果】 ・映像制作講座ではtkvコミュニケーションズのノウハウを活かし、質の高い講座を実施することができました。 ・保土ヶ谷区の地域資源である天徳院や保土ヶ谷カトリック教会等を多くの市民に紹介するとともにその資源を活かした文化活動を行いました。 ・「岩間シネクラブ サロン交流会」を年に2度、設けている。多くの来館者を迎えるだけでなく、参加者同士の交流の場を提供できました。 ・保土ヶ谷区民文化祭では保土ヶ谷区と協働し、多くの区民に芸術文化に触れていただく企画を提供した。岩間市民プラザとしては、作品募集の広報協力等、開催当日の会場の設置の協力などを行った。また、地域の活性化に貢献できました。 【課題】 ・保土ヶ谷区は区民によるさまざまな文化活動が活発であり、岩間市民プラザがどのような形で地域コミュニティの中核とされるようになるかは十分な検討を要します。 ・「東海道保土ヶ谷宿魅力発見シリーズ」については、提案当時は、野外・無料のイベントを想定していたため、500名を目標としていましたが、企画決定の段階で、キャパ数のある会場での開催となったため、人数の目標は達成できませんでした。	
		<input type="checkbox"/> 映像制作講座(初年度初級) 述べ参加者数/開催回数	20人/2回	27人/2回	A			
		<input type="checkbox"/> 地域理解講座&体験ツアー 述べ参加者数/開催回数	50人/2回	0回	C	地元の講師をお願いした講座・ツアーを企画したが、スケジュールが合わず実施を次年度に見送った。		
		②市民が主体となっていく文化芸術活動の支援	<input type="checkbox"/> 岩間シネクラブサロン交流会 述べ参加者数/開催回数	50人/2回	24人/2回	C		進行役を中心に和やかな雰囲気の中、活発な意見が出ている。会場サイズの関係もあり、1回あたりの人数に限りがあった。
			<input type="checkbox"/> 保土ヶ谷区民文化祭「美術展/写真展」 来場者数	1000人	297人	C		今年度は「写真展」は開催されたものの、「美術展」の開催はなかった。
	<input type="checkbox"/> 保土ヶ谷区民文化祭「茶・華道会いけばな展」 来場者数		850人	343人	C	開催にあたり、必要な支援を行った。		
	③市民団体とともに事業を通じた、施設と市民との良好な関係構築による、地域コミュニティの中核としての認知	<input type="checkbox"/> 保土ヶ谷区民文化祭「高年齢作品展」 来場者数	700人	614人	C	毎年当館にて開催。高齢者の来場者が多いため、期間中はレクチャールーム入口段差の解消など、手を加える事が出来る部分については、対応して事故防止に努めている。		
		<input type="checkbox"/> 東海道保土ヶ谷宿魅力発見シリーズ 参加者数	500人	91人	C	普段入る機会の少ない寺院(天徳院)で地歌のコンサートを実施。来場者アンケートの満足度は高かったが、場所の制約(100人程度収容)があり、参加者目標を達成できなかった。		
	<input type="checkbox"/> 保土ヶ谷オープンヘリテージコンサート	(I-1再掲)			「ほどがや人まち文化振興会」共催の「オープンヘリテージ」事業の時期に合わせて開催。保土ヶ谷カトリック教会の協力も得ることが出来、優れた地域資産を音楽愛好家へ広める機会となった。			
	<input type="checkbox"/> ゼロ歳から中学生のための地域劇場	(I-2再掲)			横浜で長く活動しているNPO法人に協力し、子どもたちが舞台を楽しむ機会を提供。			

平成28年度 岩間市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

4 文化芸術を通じた地域のネットワーク形成への寄与、文化的コモンズ形成の牽引	①近隣の施設(文化・福祉等)や各種文化団体、商店街、自治会等とのネットワーク構築努力及び関係性の強化	□音楽の贈り物@ほ도가や	(I-2再掲)			今年度は、横浜ビジネスパークにて実施。3回実施のうち、6/11のものは、地域の子どもたちに自然の大切さを伝える事業「ホテルに住むまちづくり展」への協力事業でもある。保土ヶ谷にある歴史的建造物や神社仏閣と協力し、伝統芸能などの公演を通じて旧東海道保土ヶ谷宿の魅力を発信する事業。「宿場祭り実行委員会」との情報交換も頻繁におこなうことができた。	【成果】 ・「ほ도가や人・まち・文化振興会」、「保土ヶ谷宿場祭り」等の機会に積極的に参加するとともに横浜ビジネスパーク(YBP)との連携を密に行い、関係を強化できました。また、借恵あきまつり、岩間町の秋祭り、ほ도가や国際フェスタの開催に向けて積極的に情報交換や場所の提供等を実施しました。	【評価できる点】 ・各種文化事業の実施や活動の場の提供を通じ、地域の人々が自由に参加できる文化活動の拠点としての基本的な役割を果たしています。 ・地域のイベント等への協力や連携した事業展開により、文化芸術を通じた地域とのネットワーク作りが行われています。 ・事業を通じた地域の多様な魅力の醸成に寄与することで、地域の文化的資源の多様性を広げ、地域固有の文化的コモンズ形成への一助となっています。	
	②地域のネットワークの中で継続した情報交換や共同事業、連携事業等の実施	□東海道保土ヶ谷区宿魅力発見シリーズ	(I-3再掲)						
	③施設内外でのさまざまなアートプロジェクトと連携・支援するなど地域の文化コーディネーター役の担任	□保土ヶ谷区オープンヘリテージコンサート	(I-3再掲)				“歴史的建造物を通じて保土ヶ谷の歴史に親しむイベント”にちなんでのコンサート。保土ヶ谷区役所や、「ほ도가や人まち文化振興会」など地域で活動する団体と協力をえることができた。	【課題】 ・フェスティバル系は「あれもこれも」と盛りだくさんになる傾向があり、当日運営の内容をしっかりと詰めないと混乱をきたす恐れがあります。	【改善が必要と考えられる点】 ・特になし
5 地域コミュニティの形成・社会的包摂(ソーシャルインクルージョン)の推進	①文化芸術・社会福祉・国際交流の三分野にわたる複合施設としての特色を活かし、「借恵いわまワークス」[NPO法人保土ヶ谷国際交流の会]の各団体と協力・連携した取組の実施	■岩間シネクラブでの障がい者就労支援喫茶店「いろえんびつ」との連携(チケット購入者の割引特典設定)	実施	実施		チケット購入者が、就労支援喫茶店「いろえんびつ」でご利用料金10%割引を受けられる特典(公演日当日まで有効)	【成果】 ・複合施設である強みを活かし、お互いの得意な分野を受け持ちながら協働することができました。 ・参加者が皆活き活きと活動し、交流を深めることができました。	【評価できる点】 ・国際交流コーナー、障害者支援施設と連携・協力し、事業や貸館の中で、多様な主体による文化活動の支援、多様な主体に向けた鑑賞機会の提供、多様な主体による文化芸術作品の発表等に取り組んでいます。 ・市民ギャラリーあざみ野との連携により、多様な視点による芸術家の紹介に取り組んでいます。	
		□いわまワークス通所者作品展 来場者数		100人	238人	A	障がいのある方の作品を展示し、理解を深める。今年度は、2017年のカレンダーの原画展を行い、作品(絵)を展示するとともに、カレンダーの紹介をすることが出来た。	・福祉施設等が身近にあり、職員のソーシャルインクルージョンの意識付けが自然な形でできました。 ・追加事業として、子育て支援広場「ビーチ」事業への運営協力を行うことができました。	【改善が必要と考えられる点】 ・特になし
		□フェローアートギャラリー 来場者数		300人	247人	C	八王子にある木馬工房所属の阿山隆之の個展。焼きペンと色鉛筆を使った絵画・立体作品約20点を展示。大変好評であった。	【課題】 ・質・量ともさらなる協働が図られるべきですが、福祉施設側の専門性が高く、市民プラザ側にはまだハードルが高いため今後さらに踏み込んだ検討が必要です。	
		□借恵あきまつり	(I-4再掲)				同じ館にある「借恵いわまワークス」の事業に連携。具体的には、施設の確保・広報の協力などをおこなった。		
		□ギャラリー絵本よみきかせ	(I-2再掲)				絵本作家の方を招いての絵本読み聞かせ会を実施。借恵いわまワークスの通所者の方も参加。		
		□シリーズ「午前の音楽会」	(I-1再掲)				3歳以上なら参加可能な音楽会ノシリーズ。親子室の利用も可能。今年度は数組の親子室利用があった。		
		□保育園生活発表会 述べ参加者数/開催回数		300人/2回	773人/2回	A	保育園の生活発表会、今年度は2回のご利用があった。		
		□子育て支援広場「ビーチ」事業への協力		6回	6回		子育て支援広場「ビーチ」事業への協力を行った。10月から3月までの6ヶ月で6回行われ、広報協力などの運営協力をおこなった。		
		□横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム	(I-2再掲)				地域の小学校へアーティストを派遣、芸術体験の場の提供。		
		□ほ도가や国際交流フェスタ 参加者数		300人	695人	A	ほ도가や国際交流の会との連携。年に1度行われる「ほ도가や国際交流フェスタ」への協力。全館貸切での催し物であり、当日運営の協力も行った。		
□異文化理解講座・日本語講座 述べ参加者数		120人	750人	A	ほ도가や国際交流の会が行う外国人の方のための日本語教室や、異文化理解講座への運営協力。場所の優先確保や減免などの協力を行った。				
■区老人クラブ連合会等に向けての広報	実施	実施	実施		区老人クラブ連合会は、1F三師会館に事務所があるため、当館のイベント等ご案内を行った。				
6 情報提供及び広報・プロモーション	①メディア事業者を中心とする共同事業体の専門性を活かし、現在の市民プラザの“弱み”である情報提供・広報プロモーション力を強化	□tvk番組での事業告知・報告等の回数	月1回	月1回	C	吉野町市民プラザ・岩間市民プラザ、両館として月に1度、tvk「猫のひたいほどワイド」に告知枠を獲得し、イベント等の告知を行っている。8月に開始した。	【成果】 ・tvkの広報枠を使った事業の宣伝やヨコハマメディアアドの専門性と機動力を活かした積極的な広報を行いました。	【評価できる点】 ・WEBページがリニューアルされ、各施設の主催情報はもちろん、利用者の活動もトピックとして掲載する等、施設PRと活動支援の両面で、WEBサイトが活用されています。	
	②2つの市民プラザのホームページのデザイン、トーン&マナーの統一を図り、よりわかり易く利用しやすいものにリニューアル	・WEBページのリニューアル □立ち上げ □関内ホールと3館連携ページを作成	4月	4月実施		4月に新しいHPとブログの運営を開始した。	【課題】 ・開館して26年になりますが、岩間市民プラザの一般的な認知度は充分とは言えず、認知度向上の取組みが必要です。	【改善が必要と考えられる点】 ・施設の認知度を高めるための広報営業活動は、基本的な取組として、事業及び貸館を通じて、効果的に行っていく必要があります。 ・提案事項である、「メディアプラットフォームの構築」についての更なる取組に期待します。	
	□動画ページを新設	実施	実施	準備		動画アップのためHP全体の見直し、コンテンツ(動画)の作成準備を行った。			
	□ブログをリニューアル	実施	実施	実施		4月のHPリニューアルにともない、ブログもリニューアル。イベント告知、イベント実施のレポートなどを掲載。			
	③WEB(SNS・動画含む)、紙媒体、テレビ、市広報等、クロスメディアによる広報プロモーションの実施	□クロスメディア広報の実施	随時実施	随時		神奈川新聞、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞にてイベント記事掲載、タウンニュース(保土ヶ谷区版)でも、随時記事掲載あり。新聞によっては、紙面と同時に、WEB上にも掲載。			
	□プラザ催し物案内 発行回数/配布箇所数	12回/120箇所	12回/150か所	B					
	④地域の人材を育成し、市域全体のメディア・プラットフォームを設立	■メディアプラットフォームを市民プラザホームページ内に構築 ■メディアプラットフォームに様々なコンテンツを提供するための実践講座を実施	実施	実施	準備	実施に向けて、セキュリティ面などの調査を行った			
			実施	実施		映像制作講座(I-3)を実施。映像制作ディレクター講座として実施した。			

平成28年度 岩間市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目	H28年度計画		実施状況			評価		
	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価	
1 市民の文化芸術活動の発表・創作活動を始めとする多様な市民利用への施設の提供	1	①さまざまなニーズに対応する、公平・公正なサービスの提供	■交替勤務による伝達不足がないように、引継ぎノートを常備	実施	実施	ノート及びWEBシステム・サイボウズの活用。	【成果】 ・利用者が気持ち良くできるような高いホスピタリティを提供しました。 ・利用率は目標に達しなかったものの、来館者数は前年度より1400人ほど増加しています。 【課題】 ・利用率の向上が課題であると同時に若い世代への利用促進が課題です。	【評価できる点】 ・指定管理者への切り替え時にも特に大きなトラブルもなく、スムーズな運営が継続されました。 ・全体としては、目標に近い施設利用が行われています。 ・若年層をターゲットとしたギャラリーのU25割引等、利用者拡大に向けた取組に着手しました。 【改善が必要と考えられる点】 ・定期利用団体の利用終了(高齢化のため等)などの施設特有の事情が、経年での利用率の低下の要因となっています。今後、新規利用者の獲得対策が必要です。 ・ギャラリーについては、多目的な用途での利用を受け入れることで、利用拡大に努めているところですが、基本は、本来の目的の利用者を増やすことが重要です。引き続き、導入したU25プランなども活用しながら、新しい展示系利用者の獲得につなげていくことを期待します。
	2		■e-mailによる問合せ等にも迅速に対応、施設見学の希望を随時受付	実施	実施	代表メールへの問合せを職員が共有し、迅速な対応をおこなった。 また、ホールのみならず、他の施設についても、ご希望があれば、(ご案内できる状況である時は即時)ご案内を行った。機材に関する助言をするために、スタッフのためのスタジオ機材研修を行った。		
	3	②利用率が高まる工夫、新規利用者を増やす工夫の実施、目標利用率	■ギャラリー利用推進のため、「U-25割引制度」を導入。	実施	広報実施	特に25歳未満の方(学生想定)の支援と、ギャラリー利用促進のためのプラン。吉野町市民プラザと共同でチラシの作成準備を行った。またHP上にてプロモーション活動を行った		
	4		■営業担当者によるPR活動	実施	実施	岩間市民プラザの認知度の向上と、利用率の向上のため、地域と沿線を中心に、こまめに営業活動を行った。		
	5		□目標利用率(%) ホール(日) 88 ギャラリー(日) 45 リハーサル室(コマ) 74 レクチャールーム(コマ) 60 スタジオ(コマA~D平均) 82			B B B B B		
2 利用者ニーズの把握及び利用者サービスの向上、アイデアノウハウの一層の活用	6	①来館者・利用者からの要望・意見を受け止め、積極的に取り入れることでサービス向上につなげる	■要望苦情は全スタッフで共有	実施	実施	回収したアンケートについては職員全員で閲覧。その他のご要望苦情についても、口頭・メールで共有した。	【成果】 ・自主事業等でのアンケート回収率が高く、概ね高い評価をいただいています。 【課題】 ・特になし	【評価できる点】 ・3階受付での案内モニター設置、貸出備品類の更新等、サービス向上の取組を行っています。 【改善が必要と考えられる点】 ・ロビーでのニューストリーム放送の実施については、指定管理者のノウハウを生かした提案事項ですので、引き続き検討を進めてください。
	7		■緊急度・重要度から優先順位を決め順次取り組む。	実施	実施	実施可能なものは、順次対応。(窓口での対応、小修繕等。)規模が大きなものについては、横浜市に相談をしている。		
	8		■対応後はより良い改善に向け検証を実施	実施	実施	対応後、感想をいただき、また、別途ご要望があれば、柔軟に対応をしている。		
	9	②対象に応じた情報収集のツールを活用した、来館者・利用者ニーズの把握・分析に基づく、サービスの向上	■ご意見箱・受付対応・アンケートなどを通じてニーズを把握	実施	実施	受付前に「ご意見箱」を設置。イベントごとに、アンケートを実施した。		
	10	③地域の情報発信拠点としての顔をつくる取組	■ロビーでニューストリーム放送の実施。	実施	準備	実施にむけての調査を開始。		
3 組織的な施設運営	11	①適切な運営組織体制と人材の配置(館長1、副館長1、事業担当2、管理担当1、運営補助3、受付パートスタッフ5)	□適所に必要な人材を配置(館長1、副館長1、事業担当2、管理担当1、運営補助3、受付担当5)	実施	実施	4/1付で、館長1、副館長1、事業担当2、管理担当1、運営補助3、受付担当5人相当を配置	【成果】 ・初年度で施設運営が初めての職員も多い中、大きな事故もなく運営を行いました。 ・運営マニュアルを早い時期に改訂し、ノウハウの共有化を行いました。 【課題】 ・職員は事業を多数抱えながら運営をするので、窓口業務についても、研修参加の後は、実務をしながら、習得を続けるをえません。	【評価できる点】 ・バンドリングで管理する施設間連携のための情報共有の場を設けています。 【改善が必要と考えられる点】 ・各職員の業務やローテーションの関係で、パートスタッフを含め個々人の課題を踏まえたスキルアップや情報共有には、それなりの工夫が必要と考えられます。計画的にプラン、スケジュールを組みながら、組織体制の強化、人材育成に取り組むことを期待します。
	12	②組織内の情報共有及び主要人材の能力確保 組織的な施設運営のための職務の効率化や職員間の情報共有、業務改善のための会議を定期的に実施するとともに、職員の能力確保のためOJT及び定期的な研修等を実施	□朝礼	1回/日	1日/回	B		
	13		□職員会議	1回/月	1回/月	B		
	14		□運営会議	4回/年	4回/年			
	15		□企画検討会 随時	随時実施	実施			
4 個人情報保護等、本市の重要施策を踏まえた取組	16	①個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注等の取組の実施	■個人情報施錠管理、パスワードの徹底	実施	実施	個人情報の記載された書類については、施錠できるところに保管することを徹底。パスワードの管理も徹底した。	【成果】 ・全職員で個人情報に対する研修、盲導犬対応講習を行うことができました。 ・デマンド監視装置を導入、使用電力を可視化。節電を意識できる体制づくりができました。 ・修繕等発生時には、地元の中小企業に声をかけ、可能な限り、市内の中小事業者への依頼に努めました。 【課題】 ・建物内の別団体との節電協力:お互いの事業に必要な機材の使用を妨げないのが前提のため、調整が難しい場合があります。	【評価できる点】 ・休館日等を活用し、職員研修を行っています。 【改善が必要と考えられる点】 ・利用許可書発行時の本人確認、広報媒体等への掲載情報確認、その他の個人情報の取扱い等については、常に初心に立ち返り、慎重に情報管理を行ってください。
	17		■「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」に添い対応	実施	実施	「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」について、職員研修等で共有した。		
	18		■人権に配慮した運営、接遇	実施	実施	人権に配慮した運営・接遇を行うための研修をおこなった		
	19		■文化施設としての快適性を確保しつつ、節電	実施	実施	こまめな温湿度設定を行い、快適かつ環境に配慮した管理をした。		
	20		■中小企業への優先発注	実施	実施	近隣の企業であることも、条件の一つとして、発注先の検討を行っている。		

平成28年度 岩間市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		H28年度計画			実施状況			評価	
Ⅲ維持管理目標		指定管理者提案(要旨)		達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
1 施設及び設備の維持保全及び管理	1	①施設の安全・安心・快適環境維持と長寿命化対応の実施	■点検時に発見した不具合を適切に補修し施設の安全性を確保	実施	実施	作業報告で不具合の判明したもので、対応可能なものについては、逐次対応。	【成果】 ・日常点検・定期点検で発見した不具合に対応し、安全・安心な施設提供を行いました。 【課題】 ・施設の老朽化が進み、故障・破損等が多く発生する。今後見込まれる修繕に向けた予算の確保等が課題となっています。	【評価できる点】 ・必要に応じ本市と随時相談・調整を行いつつ、施設・設備の保全管理を適切に行っています。 【改善が必要と考えられる点】 ・老朽化した施設・設備を管理していることを念頭に、引き続き適切な日常・定期点検を行い、施設設備の安全な運転管理と延命化に努めてください。	
	2		■法定点検を計画通り実施し不具合は確実に	実施	実施	法定点検と修繕を実施。			
	3	②保守点検、備品管理、環境維持の実施	□月1～2回の施設点検・職員研修日数	月1～2回	1回/月	B			
	4		□エレベーター点検回数	月1回	月1回	B			
	5		■業務の基準に則り物品管理	実施	実施	担当者を配置。担当者を中心にスタッフ全員で物品管理を行っている。			
	6		■利用実態に即した満足度を向上させる清掃	実施	実施	日常清掃を行うと同時に、スタッフによる細かな清掃もおこなっている。			
	7		■年間排出計画を定めて廃棄物の発生抑制	実施	実施	前年よりも廃棄物の量を減じることができた。			
2 小破修繕の着実な実行	8	①小破修繕の取組	□巡回点検回数	1回/日	1回/日	B	【成果】 ・照明のLED化をできる箇所から行い、省エネを推進しました。 ・スタジオの床の張替等を職員自身で行うなど、利用者に心地用環境を提供するための取組を実施しました。 【課題】 ・1に同じ	【評価できる点】 ・不具合に対する修繕のほか、指定管理者として運営上必要と判断した修繕を、できる範囲で取り組んでいます。 【改善が必要と考えられる点】 ・施設・設備の状態に応じた適切な修繕計画を定め、必要な予算の確保を行ってください。 ・施設・設備の不具合が発生した場合は、随時書面での報告を徹底してください。	
	9		■優先順位を付け、設置者と協議の上修繕を実施	実施	実施	緊急を要する案件については、修繕を行った			
	10		■更新は長寿命化と経費節減の観点で横浜市と協議	実施	実施	冷温水発生機の更新工事がおこなわれた			
3 事故予防及び緊急時の対応	11	①事故防止体制・防犯、緊急時の対応・感染症対策等衛生管理の実施	■消防設備・避難経路の案内図を掲示し来館者へ周知	実施	実施	消防設備・避難経路の案内図が各回に掲示されている。	【成果】 ・保護対応が1件ありました。 【課題】 ・少人数運営のためインフルエンザ等で複数の職員が急に休んだときの人の手当てなどが課題となっています。	【評価できる点】 ・特に大きな問題なく、管理が行われています。 【改善が必要と考えられる点】 ・引き続き併設の施設間の連携を強化し、緊急時の対応が速やかに行われるよう、連絡調整を行ってください。	
	12		■施設設備不具合には迅速に対応し故障・停止を未然に防止	実施	実施	不具合のあった消火器については、速やかに入れ替えをおこなった			
	13		■緊急時連絡網の作成、横浜市との連携の徹底	実施	実施	緊急連絡網を作成し、横浜市・岩間市民プラザ・プラザの区分所有者との連携を徹底した			
	14		■館内巡回により日常の衛生管理を徹底	実施	実施	日常清掃と、スタッフによる見回りがおこなわれ、必要な手当てを講じた。			
4 防災に対する取組	15	①日常の取組、危機管理マニュアルの整備、防火・防災の取組、災害備蓄等の実施	■災害時には「人命尊重」「生命の安全確保」を第一に対応	実施	実施	「人命尊重」「生命の安全確保」を第一に想定して防災訓練をおこなった。	【成果】 ・年2回の防災訓練を着実に実施した。同じ訓練を職員がそれぞれ立場を変えながら複数回実施し、様々な想定の人、身体を動かせるように訓練しました。 【課題】 ・夜少人数体制での地震、火災等への対応が課題となっています。	【評価できる点】 ・河川沿岸施設であることや、複合施設内の連携等の固有の状況に対応しながら、職員の防災訓練・救命講習等を通じ、災害発生に備えた体制を確保しています。 【改善が必要と考えられる点】 ・特になし	
	16		■危機管理マニュアル整備	実施	実施	マニュアルの見直しをおこない、機器の操作については、事務所内に掲示した。			
	17		■防火・防災管理者、統括防火管理者の選任	実施	実施	統括防火管理者を選任した。			
	18		■非常用品を常備し、いつでも使用できるように	実施	実施	非常用品を常備し管理している。			
	19		□防災訓練実施回数	2回/年	2回/年	B			
	20		□台風等による増水対策防潮版設置訓練の実施回数	1回以上	1回/年	B			
5 その他管理に関する事項	22	①日常の取組、危機管理マニュアルの整備、防火・防災の取組、災害備蓄等の実施	■許認可および届出の適切な実施	実施	実施	必要な許認可・届出等をおこなっている。	【成果】 ・盲導犬協会の協力を得ての、盲導犬を伴った講習をおこなうことができた。 【課題】 ・全員を集めての講習等は休館日を利用して行っています。それ以上の研修は、個別で外部の講習会に参加することで補っていますが、少人数運営のため、業務との調整が難しい面があります。	【評価できる点】 ・必要な手続等が適切に行われています。 【改善が必要と考えられる点】 ・特になし	
	23		■目的外使用許可手続	実施	実施	目的外使用許可手続をおこなっている。			
	24		■名札の着用	実施	実施	4月より、新しい名札にし、就業中は全員が着用している。			
	25		■人権の尊重、人権講習会等に参加	実施	実施	全職員参加による盲導犬ユーザーによる講習をおこなった。			
	26		■騒音・利用者迷惑行為に関する近隣対策の実施	実施	実施	館外への音漏れ等についてのチェックを随時、職員が行っている。			
	27		■書類の保存期間を定め、保管・管理	実施	実施	書類の保存期間をさだめ、管理している。			
	28		■行政機関が制定する規程等の遵守、法律制定・改正時の対応	実施	実施	法令を遵守し、法律制定・改正のときには、職員全員に周知を行っている。			

評価項目		H28年度計画			実施状況			評価	
Ⅳ収支		指定管理者提案(要旨)		達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
1 適切な収支構造及び収支バランス	1	①適切な収支構造及び収支バランス	■民間のノウハウを生かした事業計画の立案と効率的実施	実施	実施	共同事業体の各社の特色を生かし、事業・広報・運営の計画がなされている。	【成果】 ・指定管理初年度ということもあり、一部設備の修繕・メンテナンスなどを行いました。 【課題】 ・管理費・事業費など経費削減に努めたものの、結果的にはマイナスの収支となりました。初年度と言うこともあっての初期投資的な修繕を行ったものもあり、マイナスについては、指定管理期間全体を通じて、解消していく予定です。	【評価できる点】 ・指定管理初年度の予算執行について、経費削減の視点をもちながら、適切に執行管理が行われています。 【改善が必要と考えられる点】 ・収入面では、主に利用料金とその他収入(協賛金・助成金)の欠損が、支出面では主に人件費の超過が全体の収支状況に影響しています。	
	2		■事業収支の精査	実施	実施	日常的に、事業収支については、報告書が作られている。館全体として収支はとりまとめられ、定期的にJV会議で報告・検討がされている。			
2 指定管理料にのみ依存しない収入構造	3	①指定管理料のみに依存しない収入確保の取組	■利用率向上による収入確保	実施	実施	利用者数の増加はあったものの、利用率向上にはいたらなかった。	【成果】 ・積極的な広報活動により、予算を超える入場料(チケット)収入を確保しました。 【課題】 ・協賛金収入や助成金収入の確保が課題となっています。	【評価できる点】 ・予算に対し事業収入が伸びています。 【改善が必要と考えられる点】 ・利用率の停滞が、利用料金収入の落ち込みにつながっています。 ・協賛金・助成金の獲得については指定管理者のノウハウを生かせる分野として提案されていますので、一層の取組を期待します。	
	4		□目標利用率(再掲)	(Ⅱ-1再掲)					
	5		■営業ノウハウを持つ担当者の配置と協賛金獲得活動の実施	実施	実施	営業経験のあるものを担当者として配置をした。当期は、協賛金2件を獲得した。			
3 経費削減及び効率的運営努力	6	①経費削減等効果的運営の取組	■空調や照明を節減し、光熱水費削減	実施	実施	デマンド監視装置を導入し、使用電力量に対する意識を高めた。また、修繕が必要な照明については、LED化を行い、消費電力の削減に努めた。	【成果】 ・照明のLED化により初期投資額は要したものの長期的には経費削減につながった。 ・照明や冷暖房のこまめな操作により光熱費の削減を図りました。 【課題】 ・建物の構造上、夏季における28度設定を行った場合、事務室の温度が30度近くに上昇することから、運用の工夫が必要となっています。	【評価できる点】 ・独自にデマンド監視装置を導入するなど、設備の効率的な運転に向けた取り組みを行っています。 【改善が必要と考えられる点】 ・引き続き適切な執行を心がけてください。	
	7		■職員全員が削減意識を持ち事務事業費の経費削減	実施	実施	外部の業者に発注する前に、内部職員で対応できるものは、対応することで、経費を削減する。消耗品は、複数の業者(ネット検索含む)同等品でコストの低いものを探して購入する等により、経費の削減に努めた。			

平成28年度 岩間市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目	H28年度計画	H28年度計画		実施状況		評価	
		達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
その他	特記(提案事項要旨)	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
1	<p>※市民プラザ2館を指定管理する利点を生かした管理運営の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設共同事業の実施による文化活動団体の交流拡大と地域文化の担い手育成 安全、安心、快適な施設管理と長寿命化への対応(2施設の建物管理を総合的に行うことで、効率的で迅速な対応を実現)等 	<ul style="list-style-type: none"> 相互の人員協力により、効率的に運営 地域で文化活動を担う人財を育成するための映像講座を2館で開講 共通割引制度を導入し、広いエリアで若年層へプラザの認知度向上を目指す 同規模、同程度の経過年数2館の建物管理を総合的に行うことで、合理的な施設管理を実現 	実施	実施	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に情報を共有し、人員協力により事業等の効率的な運営を行いました。 地域文化の担い手育成を目標とした「映像制作講座」は初年度のため、両館とも初級編を開催。 共通割引制度「U25プラン」を導入。若い利用者への全体的なアピールを開始しました。 同規模・同程度の経過年数2館で設備管理についての問題点を共有し、早めに対応することができました。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2館の相互協力により効率的な運営を行いました。人員応援以外にも、CM制作や企画立案などの作業を両プラザの職員が補完し合うことで、外部委託経費を削減することができました。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「映像講座」「WEB講座」は、次年度以降、プラザごとで別レベルの講座を行うことで裾野を拡大します。 「U25プラン」の利用者誘致が課題です。 	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 両プラザ連携した管理運営のための体制作りが行われました。 <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 両施設連携・補完しあった事業・運営・管理各面の取組を進めてください。 各施設の良好な取組等については、他の施設で参考にするなど、相互に運営の質の向上に繋げられるような情報共有が行われることを期待します。

評価項目	H28年度計画	H28年度計画		実施状況		評価	
		達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
総括	特記(提案事項要旨)	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
1						<p>【文化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね当初の予定を実施しました。一部の事業については、スケジュールの合わないこと等で未実施の事業が発生しました。 場所の設定やカウント方法等で当初の考え方と齟齬があったため入場者数等で目標に達しなかった事業がありました。事業の内容は評価できると考えます。 <p>【運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話番号の記載ミスは反省すべき点と認識しています。運営初年度のため運営ノウハウの継承と定着が課題でしたが、スムーズにテイクオフができ、概ね当初予定通りの運営を行うとともに一部改善を図ることもできました。 <p>【維持管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> 建物の経年劣化が大いいため修繕業務が多々発生しましたが、大きな支障もなく安全、安心、快適を目標とした維持管理ができました。 <p>【収支】</p> <ul style="list-style-type: none"> △160万となりましたが、指定管理期間全体で収支をプラスにする予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民プラザの指定管理導入初年度で、指定管理者としても最初の年ということもあり、随時、模索しながら業務体制を整えていく面も見受けられましたが、何よりも、地域に根差した施設の経過を考慮しながら、立ち上げをスムーズに行うことができた点を、評価したいと思います。 この施設の特徴として、地域資源を生かしたアウトリーチ事業や、併設施設の特性を生かしたインクルーシブな事業に、特徴が見られますが、その中で新規の取組にも手を伸ばしています。一方で、初年度ということもあり、全般的には、既存の事業の継続で目一杯という印象も受けました。 利用促進の面では、目立った成果には至っていませんので、施設固有の課題を分析しながら、効果のある取組に繋げていく必要があります。 今後はさらに施設の現状と課題を分析しながら、一歩踏み込んだ取組や、2施設一体公募を行ったメリットを発揮できるよう、検討・取組を進めていくことを期待します。